

# 平成30年度第4回理事会開催される



造園業務安全講習会の様子

平成31年3月2日（一社）東京電力 園緑化業協会の平成30年度第4回理事会が造園会館で開催されました。議案は、平成31年度の事業計画及び予算、経理規程の整備について審議なされ、すべて承認されました。

新年度（二〇一九）の予算が成立  
—会員各位の理解と協力のもと—

平成33年度は、沿線の森林開拓事業の終結を受け、会員会費を柱とした厳しい予算編成となりましたが、会員各位の理解と協力を得ながら前向きな事業展開を進めてまいりたいと考えております。

⑥限られた予算の中で、効率的・効果的な事業執行を図る。

路樹の整備など総の創出・健全な植樹計画について、東京都は、現在、公園改革に取り組んでいます。そこで、街路樹の緑陰による署立など、喫緊の課題であり、是非、協力して欲しいとの要請がありました。特に、2020年までに総の創出・健全な植樹計画について、東京都は、現在、公園改革に取り組んでいます。そこで、街路樹の緑陰による署立など、喫緊の課題であり、是非、協力して欲しいとの要請がありました。

ついでには、当協会としても最大の協力をすること、また、縁豊かな美しい東京の景観づくりを図るうえからも、2020オリンピックパラリンピック終了後も継続して取り組んでも頂きたいとの要請をしました。

渡辺重砂子  
▼建設局 ●公園緑地部計画課課長代理（竹  
炎公園担当）田巻芳則 ●公園緑地部公園  
建設課課長代理（工事担当）仲辻周平  
東部公園緑地事務所管理課課長代理（維持管理  
担当）鈴木一弘 ●東部公園緑地事務所事業推

一 会員各位の理解と協力のもと新たな事業展開を

東京を次世代へ確実に継承していくため、21年度予算においても引き続き、都立公園や

が図られました。大場副理事長からは、街路樹の緑陰確保に

●大島支庁土木課大島公園事務課  
▼総務局 〈課長代理級〉

新年度（二〇一九）の予算が成立

大場副理事長、鈴木理事、齋藤理事、大内事務理事が出席しました。

また、都立公園においても維持管理に関する費用が昨年度の93億円から100億円に微々

増る  
公園計画担当 橋本久子  
事務所工事課統括課長代理（設計総括担当）  
東部公園緑地課

発行所  
(社)東京都造園緑化業協会  
東京都渋谷区神南1-20-11  
電話(03)3462-2858  
<http://www.tmla.or.jp>  
編集/広報委員会

〔215号の主な内容〕

〔2面〕 東京都予算

〔3面〕 公園協会意見交換会

〔4面〕 しごと最前線

動物園に見る造園技術

東京みどり探訪（20）

事務局の動き

# 平成31年度 東京都緑関係予算について 小池知事から回答

# 造園職人事異動（課長代理級以上）一覽



## 平成31年度 東京都公園緑地関係予算概要

### ◆都市公園予算の概要

	31予算	30予算	増減
建設局計(一般会計、土木費)	5,753	5,965	△212
公園整備費計	599	798	△199
構成比	10.4%	13.4%	

(単位:億円)

### ◆都市公園事業別予算

	31予算	30予算	増減
公園整備費計(一般会計)	599	798	△199
投資的経費	384	595	△210
都市公園の整備	330	530	△201
動物園の整備	35	50	△15
靈園葬儀所の整備	19	13	6
小笠原の公園整備	1	1	0
経常的経費	215	204	11

(単位:億円)

※係数はそれぞれ四捨五入

### ◆道路緑化等事業別予算

	31予算	30予算	増減
投資的経費(道路緑化の推進)	742	911	△169
経常的経費	5,888	5,800	88
合計	6,630	6,711	△81

(単位:百万円)

### ◆自然公園事業別予算

	31予算	30予算	増減
自然公園の管理	1,190	1,142	48
自然公園の整備	897	978	△81
世界自然遺産保全事業	718	674	44
自然公園適正利用推進事業	118	106	12
合計	2,923	2,900	23

(単位:百万円)

### ◆海上公園事業別予算

31予算		
投資的経費	新規整備	約31億1700万円(64.2%増)*
	既設公園改修	約67億8900万円(87.1%増)*
経常的経費	公園管理	約13億4400万円(2.8%増)
	維持工事費	約9300万円(12.3%減)

※債務案件は31年度負担分を計上



①秩父多摩甲斐国立公園  
奥多摩地区登山道改修、自然公園避難小屋等改修ほか  
②明治の森高尾国定公園  
歩道改修ほか  
③富士箱根伊豆国立公園  
大島園地施設改修・歩道改修、三宅島歩道公園施設改良工事

◆既設公園改修  
海の森施設整備工事、海の森船着場整備工事・後背地整備工事、有明親水海浜公園整備工事、ね台場海浜公園船着場整備工事、晴海緑道公園整備工事  
辰巳の森海浜公園修景整備工事、大井ふ頭中央海浜公園修景整備工事、晴海ふ頭公園再整備工事、お台場海浜公園エレベーター設置工事、辰巳の森緑道公園修景整備工事、大井ふ頭・東八潮緑道公園修景整備工事、大井ふ頭中央海浜公園防災対策工事、辰巳の森緑道公園防災対策工事、シンボルプロムナード公園改修工事、シンボルプロムナード公園防災対策工事ほか

### 海上公園関係事業費

(港湾局臨海開発部海上公園課)

### ◆新規整備

(港湾局臨海開発部海上公園課)

### ◆主要事業箇所

自然公園の整備

(港湾局臨海開発部海上公園課)

### ◆既設公園改修

(港湾局臨海開発部海上公園課)

### ◆新規整備

# しごと最前線



## ● 生態系に配慮した緑づくりを広める (東京都環境局)



江戸のみどり登録緑地「アーチヒルズ 仙石山森タワー」内の、在来種に囲まれた小道



在来種や生態系のつながり・多様性をモチーフにした「江戸のみどり登録緑地」のシンボルマーク(右が優良緑地)

在来種植栽の推進を図ってきた。在来の植物は東京の気候風土に適合しているため、病虫害のリスクに対しても、在来の動植物の生息・生育基盤であり、東京の生物多様性の保全につながることが期待される。

無論、有用な外来種や園芸品種は数多くあり、そうした樹種がふさわしい植栽場所もある。適材適所の植栽を行う上で、在来種や生態系に配慮した緑

都においても、2012年5月に策定した生物多様性地域戦略「緑施策の新展開」において、緑の「量」とともに、緑の「質」を高める取組を進める方針を定め、2014年5月には植栽に適した在来種のリストや植栽時の配慮事項等をまとめた「植栽時における在来種選定ガイドライン」(注1)を公表し、

取組が進められるようになっている。都においても、2012年5月に策定した生物多様性地域戦略「緑施策の新展開」において、緑の「量」とともに、緑の「質」を高める取組を進める方針を定め、2014年5月には植栽に適した在来種のリストや植栽時の配慮事項等をまとめた「植栽時における在来種選定ガイドライン」(注1)を公表し、

在来種植栽の推進を図ってきた。

在来の植物は東京の気候風土に適合しているため、病虫害のリスクに対しても、在来の動植物の生息・生育基盤であり、東京の生物多様性の保全につながることが期待される。

無論、有用な外来種や園芸品種は数

多くあり、そうした樹種がふさわしい植栽場所もある。適材適所の植栽を行ったところ、在来種中心の植栽と通常の植栽との間に、維持管理コストにさほど大きな差は見られなかった。また、協力企業の緑地は地域住民や利

用者などから総じて高い評価を得てお

り、こうした緑化を成功させる鍵は、

しっかりととしたコンセプトに基づく緑

づくり、地域住民への配慮や積極的な

P.Rなどにあることが分かった。(注2)

そこで東京都では、在来種植栽及び生態系に配慮した緑化の普及に向け、2017年5月から、一定割合以上の在来植物を植栽し、生態系に配慮した民間緑地を登録して公表する「江戸のみどり登録緑地」(注3)制度を開始した。

中でも化学薬品を用いた除草剤や殺虫剤等の使用量の低減、昆虫や鳥などの餌場や隠れ場所の創出、水辺や草地の配置など、生きものの生息生育環境への配慮に特に優れた緑地については「優良緑地」として登録される。原稿執

合った植物が選択できない場合は、

類似の植物を植えます。

そのため、日本でも生育可能な樹種の選択、生息地を再現させる植栽手法、動物の飼料となる植物の植栽、動物舎等を覆う壁面緑化、動物の被食から植物を守る技術などが工夫されています。また、園内で発生する倒木や枯木も、園路沿いや放飼場内に配置することで、動物の生息地の再現に役立っています。

東京都では、昨年度から「生態系に配慮した緑化のための講習会」(注4)を開催し、こうした緑化に取り組む際のポイントやヒントをお伝えしておりである。

これまでに設計者、緑地管理者、ゼネ

1 新たな緑化の視点としての生物多様性

近年、先進的な民間事業者の都市再開発プロジェクトなどを中心に、敷地の緑化コンセプトに生物多様性の回復という視点を盛り込み、在来種の活用など様々な工夫により生きものの生息・生育空間を拡大する、いわゆるエコロジカル・ネットワークの形成を目指す取組が進められるようになっている。

都においても、2012年5月に策定した生物多様性地域戦略「緑施策の新展開」において、緑の「量」とともに、緑の「質」を高める取組を進める方針を定め、2014年5月には植栽に適した在来種のリストや植栽時の配慮事項等をまとめた「植栽時における在来種選定ガイドライン」(注1)を公表し、

在来種植栽の推進を図ってきた。

在来の植物は東京の気候風土に適合

しているため、病虫害のリスクに対し

ても、緑や生きものがバランスよく元気で

いた。そこで、在来種中心の植栽と通常の植栽との間に、維持管理コストにさほど大きな差は見られなかった。

また、協力企業の緑地は地域住民や利

用者などから総じて高い評価を得てお

り、こうした緑化を成功させる鍵は、

しっかりととしたコンセプトに基づく緑

づくり、地域住民への配慮や積極的な

P.Rなどにあることが分かった。(注2)

そこで東京都では、在来種植栽及び

生態系に配慮した緑化の普及に向け、2017年5月から、一定割合以上の在来植物を植栽し、生態系に配慮した民間緑地を登録して公表する「江戸のみどり登録緑地」(注3)制度を開始した。

中でも化学薬品を用いた除草剤や殺

虫剤等の使用量の低減、昆虫や鳥などの餌場や隠れ場所の創出、水辺や草地の配置など、生きものの生息生育環境への配慮に特に優れた緑地については「優良緑地」として登録される。原稿執

合った植物が選択できない場合は、

類似の植物を植えます。

そのため、日本でも生育可能な樹

種の選択、生息地を再現させる植栽

手法、動物の飼料となる植物の被

食から植物を守る技術などが工夫さ

れていました。また、園内で発生する倒

木や枯木も、園路沿いや放飼場内に

配置することで、動物の生息地の再

現に役立っています。

東京都では、昨年度から「生態系に

配慮した緑化のための講習会」(注4)

を開催し、こうした緑化に取り組む際

のポイントやヒントをお伝えしており

である。

東京都では、昨年度から「生態系に

